

事業の展望

わが国の金融市場環境は、欧米の不安定な経済状況を踏まえて、引き続き弱含みの展開が続けていくことが懸念される中、多額の復興支援債の発行が条件付けられ、その財源にも窮するなど、基本的に現在の超低金利時代は継続していくものと推察されます。

このような中、地域金融機関を取り巻く経営環境は、貸出金利回りの低下や、債券金利の低下などで資金運用収益力が低下するなど厳しい状態が続いておりますが、国内外の経済環境を見極め、環境の変化に対し、迅速かつ適格な判断に努めてまいります。

かかる時代背景を経営戦略に折込み、当金庫は真の地域金融機関としての使命と役割りを果たすべく、常にお客様を見据えた経営戦略を土台に、face to face に集約される「お客様の心をお預かりして、ハートのある資金をご融資する」という地域金融機関の伝統的なコア業務部門に磨きをかけ、また収益確保のための経営体質の強化を図り、顧客満足度向上にむけた金融サービスを提供し、佐賀・長崎地域になくてはならない“選ばれる信用金庫”としてさらに成長発展を遂げるよう役職員一丸となり頑張っております。

地域貢献

ひぜん経営者セミナーの開催

日時：平成24年9月12日(大村地区)

平成24年9月13日(佐賀地区)

平成24年9月14日(佐世保地区)

講師：藤津 勝一氏

(信金中央金庫 地域・中小企業研究所)

内容：経営計画の重要性と作成のポイント

～中小企業にご求められる経営力向上のために～

九州ひぜん信用金庫は、ひぜんビジネススクラブ会員である地元企業経営者等の皆様に対して、情報収集・発信・支援等のお手伝いを行っております。

上記のとおり、本年9月に開催したセミナーにおいては、佐賀地区76名、佐世保地区69名、大村地区50名の参加を頂き、好評を得ました。



| 店舗一覧 | | | |
|--------|-----------|-------------------------|---------------|
| 本部 | 〒843-0024 | 佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地 | ☎0954-23-1281 |
| 本店営業部 | 〒843-0024 | 佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地 | ☎0954-23-1181 |
| 大町支店 | 〒849-2102 | 佐賀県杵島郡大町町大字福母381番地1 | ☎0952-82-3181 |
| 白石支店 | 〒849-1112 | 佐賀県杵島郡白石町大字福田1535番地1 | ☎0952-84-4181 |
| 嬉野支店 | 〒843-0301 | 佐賀県嬉野市嬉野町大字下箸乙553番地2 | ☎0954-42-0181 |
| 鹿島支店 | 〒849-1311 | 佐賀県鹿島市大字高津原4034番地3 | ☎0954-62-7181 |
| 宮野町支店 | 〒843-0022 | 佐賀県武雄市武雄町大字武雄7319番地 | ☎0954-23-2181 |
| 北方支店 | 〒849-2204 | 佐賀県武雄市北方町大字大崎1095番地3 | ☎0954-36-5181 |
| 山内支店 | 〒849-2303 | 佐賀県武雄市山内町大字三間坂甲13821番地1 | ☎0954-45-6181 |
| 佐世保営業部 | 〒857-0043 | 長崎県佐世保市天満町1番15号 | ☎0956-22-5181 |
| 本島支店 | 〒857-0871 | 長崎県佐世保市本島町1番6号 | ☎0956-24-5181 |
| 大宮支店 | 〒857-0841 | 長崎県佐世保市大宮町8番19号 | ☎0956-31-6126 |
| 俵町支店 | 〒857-0016 | 長崎県佐世保市俵町9番12号 | ☎0956-23-1101 |
| 大野支店 | 〒857-0136 | 長崎県佐世保市田原町10番12号 | ☎0956-49-3341 |
| 相浦支店 | 〒858-0918 | 長崎県佐世保市相浦町1615番地2 | ☎0956-47-3105 |
| 早岐支店 | 〒859-3215 | 長崎県佐世保市早岐2丁目3番17号 | ☎0956-38-3148 |
| 大村支店 | 〒856-0826 | 長崎県大村市東三城町5番地 | ☎0957-52-2141 |
| 竹松支店 | 〒856-0805 | 長崎県大村市竹松本町956番地1 | ☎0957-55-7144 |
| 諫早支店 | 〒854-0072 | 長崎県諫早市永昌町18番1号 | ☎0957-26-3556 |
| 西大村支店 | 〒856-0024 | 長崎県大村市諏訪1丁目604番地1 | ☎0957-52-4100 |

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひぜん信用金庫

<http://www.hizeshin.co.jp/>

九州ひぜん信用金庫ディスクロージャー誌 (平成24年9月末)

ひぜん経営レポート

2012・9・30



平成24年度上期事業の概況

事業方針

当金庫の経営理念である①中小企業の健全な育成発展、②豊かな国民生活の実現、③地域社会繁栄への奉仕、のもと、経営方針として「透明性が高く、特色と存在感があり、お客さまの好感度と満足度を高める経営の実現」により「地域密着型金融の徹底(町医者機能の強化)と十分な資本の備え(健全性の向上)」を図ることを掲げ、「地域社会の永続的な繁栄に奉仕しうる信用金庫」を目指しています。

金融経済環境

九州・沖縄における景気判断としては、「輸出、生産が弱めの動きとなるなど、全体として持ち直しのテンポが緩やかになっている。(日本銀行 地域経済報告)」とあるように、依然として厳しい状況が続いております。

業種別にみると、円高・海外経済の減速などから、製造業の改善テンポが鈍い一方、九州新幹線的全線開通効果などから、非製造業の景気感は着実に改善しております。

雇用情勢は、改善しつつも、引き続き厳しい状況に置かれています。有効求人倍率は09年7～9月の0.38倍をボトムに12年4～6月には0.66倍に上昇したものの、地域別には北海道(0.59倍)に次いで2番目に低い水準となっており、また完全失業率も、依然として全国平均を大きく上回っております。

観光・宿泊施設については大震災後の自粛ムードによりが大きく落ち込みましたが、九州新幹線全線開業の効果等から持直しつつあります。

信用金庫の貸出金は、低調な推移が続いているものの、減少には歯止めがかかりつつあり、12年6月末の貸出金残高は、11四半期連続で減少したものの、減少率は小幅にとどまっております。(参考文献：信金中央金庫レポート)

半期の業績

預金積金の残高は、前年同月比1,068百万円増の120,572百万円となりました。また、貸出金の残高につきましては、事業性資金、個人消費資金ともに増加し、前年同月比1,592百万円増の75,723百万円となりました。

収益面に関しましては、欧米の景気悪化懸念などにより市場金利が低下したことから、貸出金利回りが低下し、貸出金利息は減収となりました。この結果、経常収益は前年同月比46百万円減の1,287百万円となりました。

費用面に関しましては、前年度に162百万円の不良債権処理を行なったものの、今期は新たな不良債権処理費用が発生しなかったことや、預金利息が減少したことで、経常費用は前年同月比170百万円減の1,136百万円となりました。この結果、経常利益は前年同月比123百万円増の151百万円となり、当期純利益は176百万円を計上することができました。

また、当期利益の確保による自己資本額の増加と、リスク資産が減少したことにより、自己資本比率は前年同月から0.26ポイント増加して10.19%(前年同月実績 9.93%)程度となりました。

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひぜん信用金庫

■ 主要勘定(預金・貸出金)の状況

| <末残> | | (単位：百万円) | |
|------|----------|----------|----------|
| 区分 | 平成23年9月期 | 平成24年9月期 | 平成24年3月期 |
| 預金積金 | 119,504 | 120,572 | 118,656 |
| 貸出金 | 74,130 | 75,723 | 75,643 |
| <平残> | | (単位：百万円) | |
| | 平成23年9月期 | 平成24年9月期 | 平成24年3月期 |
| 預金積金 | 118,647 | 119,322 | 118,075 |
| 貸出金 | 73,493 | 75,113 | 73,614 |

■ 業種別貸出残高の状況

| | (単位：百万円) | | |
|-----------------|----------|----------|----------|
| | 平成23年9月期 | 平成24年9月期 | 平成24年3月期 |
| 製造業 | 3,346 | 3,109 | 3,392 |
| 農業、林業 | 149 | 146 | 153 |
| 漁業 | 75 | 127 | 114 |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 81 | 86 | 74 |
| 建設業 | 4,710 | 4,678 | 4,885 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 17 | 27 | 25 |
| 情報通信業 | 51 | 60 | 49 |
| 運輸業、郵便業 | 547 | 568 | 588 |
| 卸売・小売業 | 7,316 | 7,239 | 7,243 |
| 金融業、保険業 | 215 | 222 | 226 |
| 不動産業 | 14,886 | 14,286 | 14,684 |
| 物品賃貸業 | 544 | 594 | 556 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 44 | 34 | 33 |
| 宿泊業 | 4,248 | 4,239 | 4,254 |
| 飲食業 | 2,239 | 2,308 | 2,245 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 2,420 | 2,146 | 2,344 |
| 教育、学習支援業 | 287 | 310 | 270 |
| 医療、福祉 | 3,370 | 3,991 | 3,400 |
| その他のサービス | 2,867 | 3,904 | 3,705 |
| 小計 | 47,421 | 48,083 | 48,249 |
| 地方公共団体 | 6,650 | 7,040 | 7,356 |
| 個人 | 20,058 | 20,599 | 20,037 |
| 合計 | 74,130 | 75,723 | 75,643 |

当経営レポートは、仮決算に基づき、当金庫任意の情報として開示するものであり、平成23年9月期および平成24年9月期の計数につきましては、監査法人の監査を受けておりませんので、ご承知下さい。

■ 店舗及び常勤役職員の状況

| | (単位：百万円、人) | | |
|------------|------------|----------|----------|
| | 平成23年9月期 | 平成24年9月期 | 平成24年3月期 |
| 店舗数 | 19 | 19 | 19 |
| 常勤役職員数 | 200 | 195 | 204 |
| 1店舗あたり預金量 | 6,289 | 6,345 | 6,245 |
| 職員1人あたり預金量 | 597 | 618 | 581 |

■ 損益の状況

| | (単位：千円) | |
|-----------|-----------|-----------|
| | 平成23年9月期 | 平成24年9月期 |
| 経常収益 | 1,334,079 | 1,287,911 |
| 業務収益 | 1,332,969 | 1,273,201 |
| うち資金運用収益 | 1,196,675 | 1,162,589 |
| 臨時収益 | 1,109 | 14,710 |
| 経常費用 | 1,306,864 | 1,136,743 |
| 業務費用 | 1,141,461 | 1,119,563 |
| うち資金調達費用 | 66,618 | 58,123 |
| うち経費 | 944,303 | 939,746 |
| うち一般貸倒引当金 | 8,468 | - |
| 個別貸倒引当金繰入 | 154,426 | - |
| その他臨時費用 | 10,938 | 12,769 |
| 経常利益 | 27,214 | 151,168 |
| 業務粗利益 | 1,144,279 | 1,093,383 |
| コア業務純益 | 152,866 | 132,363 |
| 特別損益 | 990 | 29,787 |
| 当期純利益 | 23,795 | 176,547 |

■ 不良債権の状況(金融再生法ベースによる開示)

| | (単位：百万円) | | |
|------------------------------|----------|----------|----------|
| 開示債権区分(自己査定 of 債務者区分) | 平成23年9月期 | 平成24年9月期 | 平成24年3月期 |
| 破産再生債権及びこれらに準ずる債権(破綻先、実質破綻先) | 4,287 | 3,384 | 3,795 |
| 危険債権(破綻懸念先) | 2,916 | 1,869 | 2,112 |
| 要管理債権(要注意先) | 327 | 198 | 208 |
| 金融再生法開示債権比率 | 10.05% | 7.14% | 8.01% |

[注記]
 本表の金融再生法による開示は、貸出金及び債務保証等の貸出金以外も開示の対象となっております。
 [区分の説明]
 1. 「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3. 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

■ 単体自己資本比率の状況(国内基準)

| | (単位：百万円) | | |
|----------------|----------|----------|----------|
| | 平成23年9月期 | 平成24年9月期 | 平成24年3月期 |
| 基本的項目の額 | 5,531 | 5,729 | 5,551 |
| 自己資本の額 | 6,245 | 6,275 | 6,101 |
| リスク・アセット等計 | 62,874 | 61,581 | 60,597 |
| 基本的項目(Tier1)比率 | 8.79% | 9.30% | 9.16% |
| 単体自己資本比率 | 9.93% | 10.19% | 10.06% |
| 総所要自己資本額 | 2,514 | 2,463 | 2,423 |

[注記]
 「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。平成24年9月30日現在については、自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁告示第79号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。なお、「その他有価証券の評価差損」の額(平成24年9月30日現在：120百万円)を控除して計算した場合には、自己資本比率は9.99%となります。

■ 有価証券の状況

| | (単位：百万円) | | | | | | | | | | | |
|-----------------|----------|------|-----|-----|----------|------|-----|-----|----------|------|-----|-----|
| その他保有目的で時価のあるもの | 平成23年9月期 | | | | 平成24年9月期 | | | | 平成24年3月期 | | | |
| | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | | | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | | | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | | |
| | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | |
| 株式 | 155 | △51 | 2 | 54 | 186 | △43 | 9 | 53 | 207 | △22 | 12 | 35 |
| 債券 | 13,717 | 160 | 219 | 58 | 14,098 | 300 | 356 | 56 | 15,331 | 168 | 243 | 74 |
| その他 | 1,811 | △390 | 7 | 398 | 1,974 | △377 | 11 | 388 | 1,756 | △285 | 13 | 298 |
| 合計 | 15,684 | △281 | 229 | 511 | 16,259 | △120 | 378 | 498 | 17,296 | △138 | 268 | 407 |

| 満期保有目的で時価のあるもの | 平成23年9月期 | | | | 平成24年9月期 | | | | 平成24年3月期 | | | |
|----------------|----------|------|-----|-----|----------|------|-----|----|----------|------|-----|-----|
| | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | | | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | | | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | | |
| | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | |
| 株式 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 債券 | 4,281 | 56 | 70 | 13 | 4,057 | 70 | 71 | 1 | 4,219 | 65 | 68 | 3 |
| その他 | 969 | △186 | - | 186 | 770 | △77 | 5 | 83 | 903 | △114 | - | 114 |
| 合計 | 5,250 | △130 | 70 | 200 | 4,827 | △7 | 77 | 85 | 5,123 | △48 | 68 | 117 |

[注記]
 1. 平成24年9月末日の「評価差額」および「含み損益」は、帳簿価額(償却原価法適用後)と時価の差額を計上しております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

| 時価を把握することが極めて困難なもの | 平成23年9月期 貸借対照表計上額 | 平成24年9月期 貸借対照表計上額 | 平成24年3月期 貸借対照表計上額 |
|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 株式 | 28 | 28 | 28 |
| その他 | 39 | 35 | 33 |
| 合計 | 68 | 64 | 62 |